

試合No.	A3	大会名	令和4年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第76回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会																
		期 日	令和4年6月4日(土)				会 場				小田原アリーナ								
男子1回戦	CC	渡邊 拓人				U1				清水 倫人				U2		八木原 零			
		チーム名						1Q	2Q	3Q	4Q	延長	延長	合 計					
		湘南工大(神奈川)						22	18	5	20			65					
		実践学園(東 京)						18	12	27	18			75					

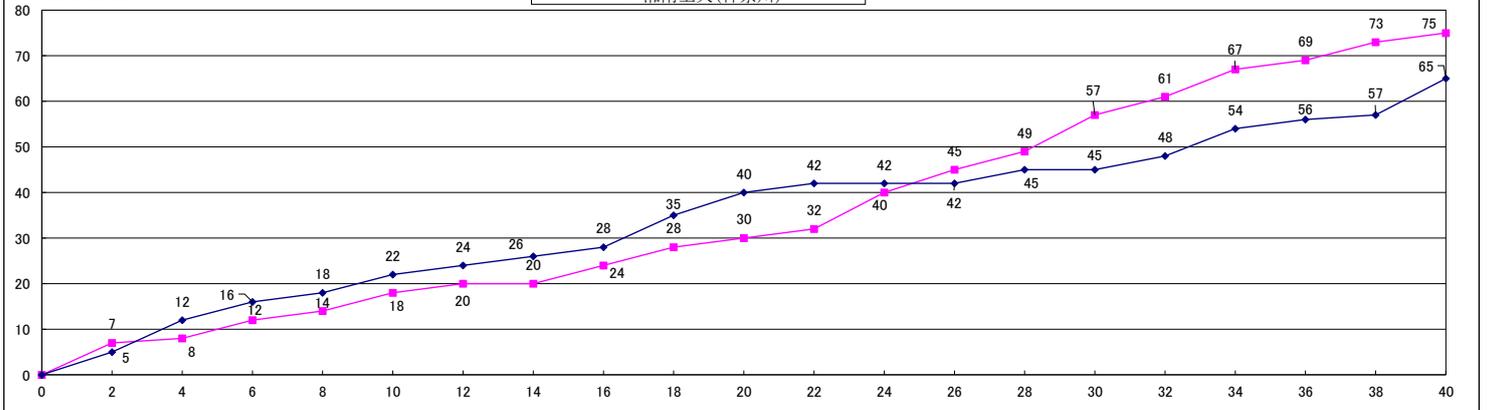
湘南工大(神奈川)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
船木 敬司(CAP)	* 1	12	2	11	18%	2	8	25%	2	3	67%	0	4	7	0	0	3	3
米山 莉生	3	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
オディギエ プレシヤス恵	4																	
竹内 快成	5																	
上原 生夢	* 6	13	3	5	60%	2	6	33%	0	0		2	4	0	1	1	1	4
原 大智	7																	
シライ レネ	8																	
岡内 颯真	11																	
矢田 涼太	12																	
木村 怜嗣	* 14	5	0	0		2	2	100%	1	1	100%	2	6	0	1	1	0	2
伊東 将太	* 16	15	0	7	0%	6	11	55%	3	4	75%	3	1	1	1	1	4	3
鈴木 春斗	* 19	20	2	12	17%	3	8	38%	8	9	89%	0	6	4	6	1	6	0
鈴木 陸斗	22	0	0	0		0	0		0	0		1	1	0	0	0	0	1
青木 飛龍	73																	
水野 秀斗	88																	
コーチ 今野 雄三																		
合計		65	7	35	20%	15	35	43%	14	17	82%	8	22	12	9	4	14	13

実践学園(東 京)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
堀内 星河(CAP)	* 0	18	0	5	0%	9	22	41%	0	1	0%	3	6	2	1	1	4	2
山本 真司	10																	
江川 晴	15	10	0	1	0%	5	11	45%	0	0		4	7	1	1	1	4	1
横山 蒼太	* 17	11	0	1	0%	4	9	44%	3	6	50%	1	4	0	1	0	2	5
新納 達彦	19																	
小林 憲真	* 27	4	0	0		2	4	50%	0	0		3	1	0	0	0	0	0
村田 風渡	* 35	7	1	1	100%	2	4	50%	0	0		1	3	0	0	0	0	1
南澤 空	* 37	11	1	1	100%	3	5	60%	2	5	40%	1	6	1	2	0	3	4
榮田 敏久	39	4	0	0		2	6	33%	0	0		2	3	1	2	0	1	1
江川 遥希	44																	
平岡 拓篤	49																	
中米 玲友	61																	
高橋徳乃心	79	8	0	1	0%	3	5	60%	2	2	100%	2	2	0	0	1	1	3
渡邊 颯太	80																	
岡田 新	84	2	0	2	0%	1	1	100%	0	0		0	1	0	0	0	1	1
コーチ 高瀬 俊也																		
合計		75	2	12	17%	31	67	46%	7	14	50%	17	33	5	7	3	16	18

得点経過



戦評

1Q 両者マンツーマンでスタート。実践学園はサイズを生かし、リバウンドからチャンスを作りリズムを作る。中でも#0がインサイドでは力強いプレイ、アウトサイドからでは柔らかいシュートタッチでスコアし、チームを引っ張る。対して湘南工大附は一人一人の運動量が非常に優れており、速い展開でゲームを優位に進める。特に#1のオンボールスクリーンから#16の鋭いドライブや、#6の3ptsでスコアを重ね湘南工大附22対18実践学園で湘南工大附リード

2Q 引き続き湘南工大附は#1のオンボールスクリーンが起点となり、合わせのプレイやマークを引き付けてのクローズアウトを作り出し、オフェンスを展開していく。対する実践学園もポイントを絞ったディフェンスで応戦。またオフェンスではリバウンドをもぎ取り確実にスコアを伸ばしていった。湘南工大附40対実践学園30で前半終了。

3Q 湘南工大附マンツーマン、実践学園ハーフ2-3ゾーンでスタート。実践学園は#17がサイズを生かしポストアップで連続スコア。また、ゾーンディフェンスで湘南工大附の勢いのあるプレイをストップさせることに成功し残り6分湘南工大附42対実践学園36と猛追する。湘南工大附はタイムアウトを取るがゾーンをうまく攻略できず、遂に残り4分で実践学園が逆転する。残り3分湘南工大附2回目のタイムアウト。しかし実践学園の勢いは止まらない。#17のクリアアウトから速攻でスコアを重ね、更に引き離す。このクォーター湘南工大附5点に対して実践学園は27点を獲得。湘南工大附45対実践学園57で最終クォーターへ。

4Q 実践学園は引き続き2-3ハーフコートゾーンでスタート。湘南工大附はオールコートマンツーマンで積極的にプレッシャーをかける。#16が起点となる激しいディフェンスで相手のミス誘うが、実践学園が確実にゴール下でリバウンドを制し、追いつかせない。湘南工大附は最後まで運動量を落とさず猛追するが、最終スコア湘南工大附65対75実践学園で試合終了。